



BSP通信

平成27年3月期 第2四半期報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

Contents

第2四半期の決算ハイライト……2

(株)ビーコンITの連結寄与により増収
成長に向けた戦略的投資が先行

株主の皆さまへ ……3

特集 BSPグループのビジネスモデル……5

ニュース&インフォメーション ……8

株式分割および配当予想の修正のお知らせ
株主優待のご案内

株主さまアンケートのご報告 ……10



株式会社ビーエスピー

証券コード 3800

環境変化に適応しさらなる成長を続けるために、平成27年4月1日、当社は株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジー（以下、(株)ビーコンIT）と合併いたします。

私たちがお客さまに貢献できることは何か。BSPグループでは、下記のミッションを定め、グループシナジーを創出してまいります。

しなやかなITでお客様のビジネスとワークスタイルの変革を応援します Empower Your Business & Change Your Work style



※表紙写真には、新BSPグループとして手を取り合い、新たな世界へ飛び出すという意味を込めました。

第2四半期の決算ハイライト

売上高 **34億89**百万円 前年同期比 **53.1%**増

純利益 **5億15**百万円 前年同期比 **2.2%**増

営業利益 **6億11**百万円 前年同期比 **24.7%**減

中間配当金 **35円00**銭 前年同期 **30円00**銭

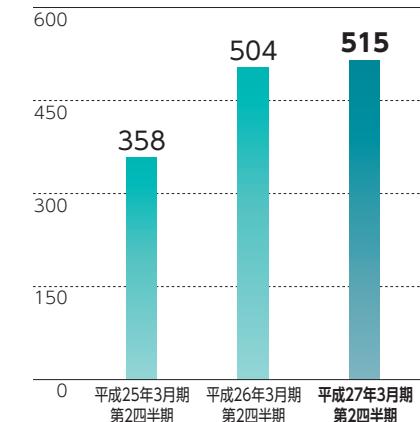
売上高の推移



営業利益の推移



四半期純利益の推移



(単位:百万円、単位未満切捨)

- システム運用事業の技術支援の増加、(株)ビーコンITの連結寄与等により、前年同期比売上高53.1%増。
- 既存事業から新規事業への戦略的な技術者再配置により、投資が先行。前年同期比営業利益24.7%減、経常利益17.2%減。四半期純利益は2.2%増。
- 中間配当金は1株当たり35円(前中間は30円)。12月31日基準の株式分割により、期末配当予想は1株当たり17円50銭に変更。株式分割を考慮しない1株当たり年間配当予想は70円から変更なし。

「組織融合」の大方針の下、先行投資と両社協働の施策を推進。 成長に向けた戦略的投資では、人材資源を再配置。 合併のコンセプトは「Re Born=成長のための事業再構築」。



株主の皆さまにおかれましては、平素より
格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成27年3月期第2四半期のご報告として
「BSP通信」をお届けいたします。

平成27年3月期第2四半期の概況

当社では、今期を連結子会社である㈱ビーコン
インフォメーションテクノロジー(以下、㈱ビーコ
ンIT)との組織融合を進め事業シナジー基盤を作り
上げる重要な年度と位置づけております。そして今
般、当社と㈱ビーコンITは、平成27年4月1日付けに
て合併を行うことといたしました。

当社グループの今期経営方針は「組織融合」の大
方針の下、「先行投資」「両社協働」を重点とした施策
を展開しております。

従って、今期業績は、来る合併を見据え、成長に向
けた戦略的投資と事業展開を行うための「躍り場」
と位置づけております。

戦略的投資の分野では、クラウド事業、ビッグ
データ市場、BPM(ビジネスプロセスマネジメン
ト)市場、既存事業の付加価値向上に向けての投資
を行いました。これら将来への布石である新規事業
の立ち上げにあたっては、既存事業からの人材の再
配置を行ったことにより、投資が先行する形となり
ました。

当第2四半期の業績を前年同期の比較で見ます
と、システム運用事業の技術支援の増加や㈱ビーコ
ンITの連結寄与等により増収。利益面では、戦略的
な人材再配置や先行投資により、減益となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期にお
ける売上高は34億89百万円(前年同期比53.1%

増)、営業利益は6億11百万円(同24.7%減)、経常
利益は6億98百万円(同17.2%減)、四半期純利益
は5億15百万円(同2.2%増)、1株当たり四半期純
利益は134円24銭(前年同期は129円13銭)とな
りました。

なお、足元の状況では、下期に向けてシステム刷
新やマイグレーション等の案件の受注ならびに案
件見通しも増加していることから、積極的な営業活
動に取り組んでまいります。また、戦略的投資と売
上、利益の改善に努めてまいります。

㈱ビーコンITとの合併について

当社は、㈱ビーコンITとの合併基本合意を受け、
12月中旬には、合併契約書を締結する予定です。

今般の合併は、環境変化に適応するためにグルー
プ連結経営のビジネススピードを上げるための意思
決定です。この合併により当社グループでは、「デー
タ活用」から「システム運用」にいたるITサービス領
域をひとつの企業体としてカバーできる事業基盤が
できます。この体制のもと、将来の環境変化に柔軟に
適応できる企業体へとRe Born(リボーン:事業構造
の再構築)することを目指しております。

Re Bornにあたっては、これまで蓄積してきた経
営資源の強みを磨くことが重要になりますが、その
際、両社の異質を融合し、組織に多様性を生むこと
で、Re Bornのためのイノベーションを生み出して

いきたいと考えております。

例えば、今期より本格化した戦略的投資はそのた
めの布石でもあります。その投資領域である、クラウ
ド事業、ビッグデータ市場、BPM(ビジネスプロセス
マネジメント)市場は、新しい産業・サービスの創出
や社会的課題の解決につながるものであり、この領
域に当社ならではのユニークな製品やサービスを提
供することにより、「お客様のビジネスとワークスタ
イルの変革」を応援できる企業を目指したいと考え
ます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わら
ぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ
ます。

平成26年12月

代表取締役
社長執行役員

竹藤浩樹
たけふじ ひろき

中間配当金についてのお知らせ

当期の中間配当金につきましては、1株当
り35円(前中間は30円)と決定し、平成26年
12月8日(月)よりお支払いを開始いたします。

期末配当予想につきましては、本誌8ページ
をご覧ください。



「A-AUTO50」提供開始!

平成26年9月、当社グループはジョブ管理ツール「A-AUTO(エーオート)」の無償版にあたる「A-AUTO 50(エーオート フィフティー)」をWebにて提供開始しました。

「A-AUTO」は、1977年の発売以来、システム運用の自動化を通じ、企業の運用業務のムダを省き、人的ミスを防ぎ、コストを下げ、さらには休日や深夜に人が働くことを不要にすることで、システム運用に携わる方のワークスタイルを変革してまいりました。

今回の「A-AUTO50」の無償提供は、小規模であるがゆえ、これまで自動化されてこなかったシステムでのご利用を対象としています。

10月には英語版も提供開始するなど、ますます広がりを見せています。当社グループは、この取り組みにより、システム運用に携わる方々の「A-AUTO」利用者の裾野拡大を図ってまいります。



株式分割および配当予想の修正のお知らせ

当社は、株式の流動性の向上ならびに投資家層の拡大を図ることを目的に、平成26年12月31日を基準日として、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施します。

本株式分割に伴い、平成26年5月8日に発表した今期配当予想を下記の通り修正しましたが、下図の通り、分割前の1株換算では実質的な配当金は据え置きとなります。

中間配当につきましては、株式分割の基準日前である平成26年9月30日が基準日となるため、従来予想の通り、1株当たり35円となります。なお、中間配当金は、平成26年12月8日(月)からお支払いを開始します。

	中間配当 (平成26年9月30日)	+	期末配当 (平成27年3月31日)	=	年間配当
前回予想 (平成26年5月8日発表)	35円		35円		70円
今回修正内容 (平成26年11月6日発表)	35円		17円50銭 17円50銭		52円50銭 17円50銭
平成26年12月31日 1:2の割合で株式分割			株式分割を考慮 しなければ、35円 (17円50銭×2)		株式分割を考慮 しなければ、70円

株主優待のご案内

当社は平成27年3月31日の株主さまを対象に、株主優待を開始します。

保有株式数	優待商品
100株以上500株未満	JCBギフトカード2,000円分
500株以上	JCBギフトカード4,000円分

本誌8ページにご紹介の通り、当社は平成26年12月31日を基準日として、1:2の割合で株式分割を行います。株主優待については株式分割後もその基準を変更しません。

■例えば…



「見て楽しい株主優待2015年上期」表紙

11月25日発売の「見て楽しい株主優待2015年上期」(発行元:日興アイ・アール株式会社)の巻頭に、当社の特集記事が掲載されています。是非ご覧ください。

※保有株式数が100株(単元株)に満たない方は、株主優待の対象外となります。



JCBギフトカード

広島県の災害ボランティアへ参加

平成26年9月、当社グループの有志社員が集まり、広島県の土砂災害ボランティア活動を行いました。

当日は、民家の床下や側溝にたまった泥のかきだしや廃品処理等に取り組みました。土砂災害から1カ月が経過してもなお、土砂は多くの水分を含んでおり、家屋内では1mほど土砂に埋もれているところや、道幅が狭く重機が入れない場所では、車が潰れたままになっているものも見受けられました。

被災された方からは、「高齢者の家庭では力仕事のままならない。ボランティアに来てくれて本当に助かる」と感謝の言葉もいただきました。

ボランティア終了後には、参加者が幹部社員を集めて報告会を開催。「ボランティアは行って終わりではない。時が経てば記憶は風化しがちだが、普段からボランティアの精神を忘れないようにしたい」と、一同が継続的な復興支援への想いを新たにしました。



2班に分かれ、2泊3日でボランティア活動を実施

「株主さまアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

前回のBSP通信(平成26年3月期報告書)において、株主さま向けにアンケートを実施し、474名の方からご回答いただきました。

皆さまから頂戴したご意見や励ましを真摯に受け止め、今後の事業活動ならびにIR活動に取り組んでまいります。

株主の皆さまからのコメント、ご質問

具体的な事業内容が分かりにくい。

- ▶ 株主さまアンケートにおいても、事業内容を取り上げた記事に対する「やや分かりづらい」というご評価が比較的多い結果となりました。これを受け、より分かりやすいご説明にすべく、本誌5ページから7ページにおいて、マンガを利用したビジネスモデルのご説明を掲載しました。株主の皆さまに当社事業をご理解いただくため、今後もより充実した内容にしてまいります。

来年から始まるJCBギフトカードの株主優待は最高に良い。出来高が少ないので、株式分割や自社株買いなどの施策を検討して欲しい。

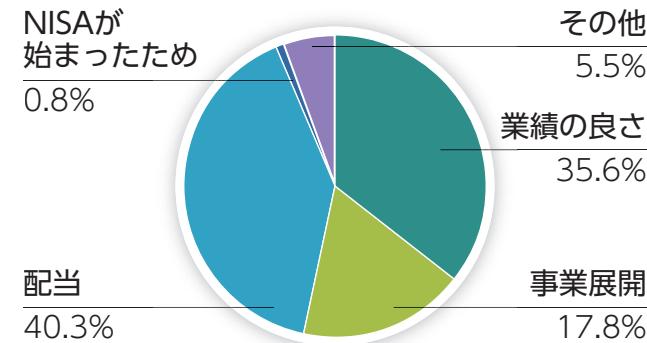
- ▶ 株主さまにとってより魅力的な株主優待とすべく、使い勝手やご要望を考慮の上、JCBギフトカードを選定しました。自社株買いについては、今年8月に実施。株式分割については、12月31日基準日にて実施を決定しました。各種施策の有効性を図りつつ、当社株式の流動性や知名度向上を目指します。

株主になって3年が経ちました。業績も良いし、株主に対する配慮も素晴らしいです。

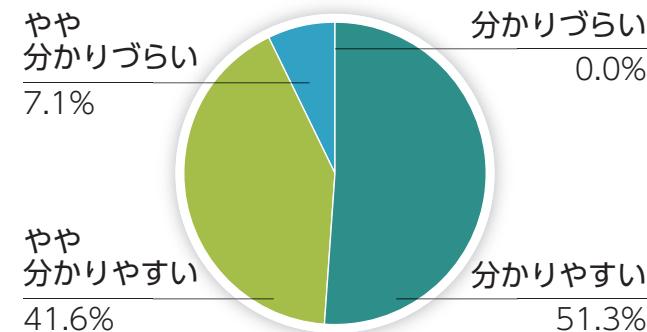
- ▶ あたたかいお言葉、ありがとうございます。当社は今期、(株)ビーコンITをグループに迎え、事業領域の拡大を図っています。今期業績を今後の事業成長に向けた戦略的投資と事業展開を行うための「踊り場」と位置づけています。環境変化に迅速に対応し、さらなる成長を続けるため、役職員一同、業務に邁進してまいります。

実施期間:6月18日~7月31日 返信数:474通(全株主数の30.2%)

当社株式の保有動機



BSP通信(平成26年3月期報告書)の記事へのご感想



連結財務諸表の概要

四半期連結財務諸表のポイント

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
売上高	2,279	3,489
営業利益	812	611
経常利益	843	698
四半期純利益	504	515
売上高営業利益率(%)	35.6	17.5
1株当たり四半期純利益(円)	129.13	134.24

平成27年3月期(通期)連結業績予想

(単位:百万円)

	前期実績 平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	当期 平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで
売上高	4,203	7,500
営業利益	1,181	1,380
経常利益	1,241	1,460
当期純利益	799	890
売上高営業利益率(%)	28.1	18.4
1株当たり当期純利益(円)	102.38	116.25

1株当たり当期純利益の前期実績と当期予想は、株式分割が行われたと仮定した数値を記載しています。

Point ①

売上高 34億89百万円(前年同期比+53.1%)
システム運用事業の技術支援の増加、(株)ビーコンITの連結寄与等により、前年同期比増収。

セグメント別の概要

データ活用事業(株)ビーコンITグループの事業領域のため、前年同期比は記載していません)

売上高 11億30百万円
営業損失 84百万円

システム運用事業

売上高 9億17百万円(前年同期比+7.0%)
営業損失 2億96百万円(前年同期は2億31百万円の損失)

メインフレーム事業

売上高 11億74百万円(前年同期比▲17.4%)
営業利益 9億27百万円(前年同期比▲14.2%)

その他事業(株)ビーコンITグループの事業領域のため、前年同期比は記載していません)

売上高 2億67百万円
営業利益 64百万円

Point ②

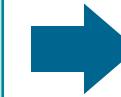
営業利益 6億11百万円(前年同期比▲24.7%)
経常利益 6億98百万円(前年同期比▲17.2%)
四半期純利益 5億15百万円(前年同期比+2.2%)

既存事業から新規事業への戦略的な技術者再配置により、投資が先行。営業利益と経常利益は前年同期比減益。四半期純利益は税効果の影響を受け増益。

連結貸借対照表

平成26年3月末：総資産114億12百万円 (単位:百万円)

流動資産 8,971	負債 2,861
固定資産 2,441	純資産 8,551 (自己資本比率64.5%)



平成26年9月末：総資産114億5百万円 (単位:百万円)

流動資産 9,054	負債 2,484
固定資産 2,350	純資産 8,920 (自己資本比率68.6%)

Point

平成26年3月末比、負債3億76百万円減少、純資産3億69百万円増加

- ・繰延税金負債の減少等により、負債が3億76百万円減少
- ・四半期純利益の計上等により、純資産が3億69百万円増加
- ・自己資本比率は68.6%(前期末は64.5%)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	863	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲29	▲39
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲131	▲366
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,013	6,285

株式の状況

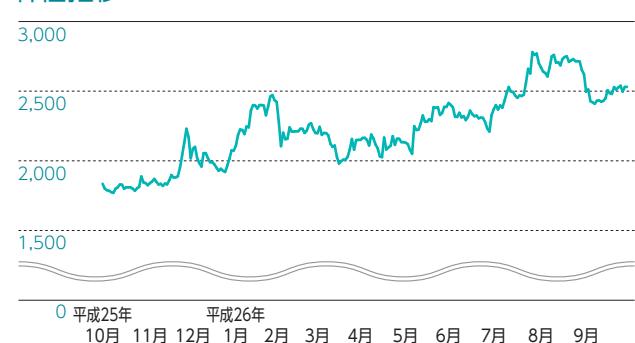
株式の状況(平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 15,000,000株
 発行済株式の総数…………… 4,250,000株
 株主数…………… 2,042名
 大株主(上位10名)

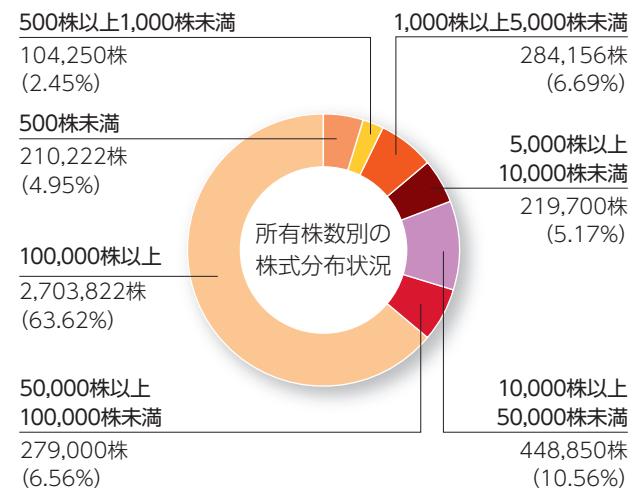
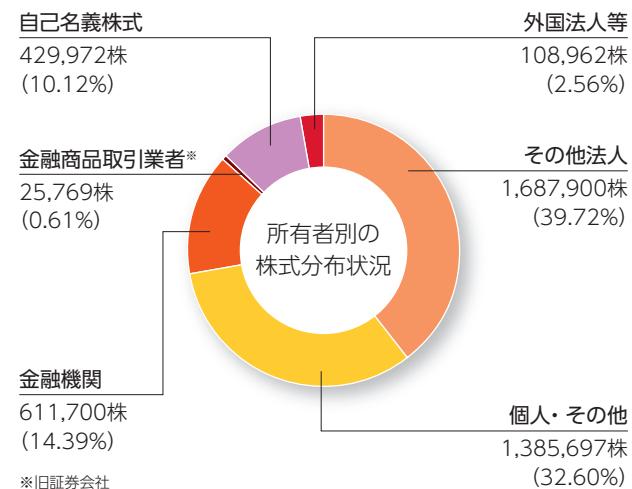
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ビジネスコンサルタント	440,000	11.52
株式会社リンクレア	360,000	9.42
三菱UFJキャピタル株式会社	222,500	5.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	187,400	4.90
ビーエスピー社員持株会	163,950	4.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	154,400	4.04
TIS株式会社	145,800	3.81
株式会社クエスト	137,000	3.58
株式会社みどり会	135,000	3.53
三菱UFJ信託銀行株式会社	127,500	3.33

(注)持株比率は自己株式(429,972株)を控除して計算しております。

株価推移(単位:円)



分布状況



会社概要

会社概要(平成26年9月30日現在)

社名	株式会社ビーエスピー
英文社名	BSP Incorporated
主な事業内容	データ活用ソリューションの提供、ITシステム運用管理パッケージソフトウェアの開発・販売・サポート
本社所在地	東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
設立年月	昭和57(1982)年5月 平成5(1993)年7月 ITシステム運用事業を本格開始
HPアドレス	http://www.bsp.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	3800
資本金	13億3,000万円
従業員数	連結399名 単体182名
事業所	BSP R&Dセンター(東京都品川区) 大阪事業所(大阪市中央区) 名古屋事業所(名古屋市西区) 福岡事業所(福岡市博多区)
グループ会社	株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジー 株式会社ビーエスピーソリューションズ 備実必(上海)軟件科技有限公司 株式会社アスペックス 株式会社ビーティス 株式会社データ総研

役員(平成26年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	竹藤 浩樹 (たけふじひろき)
取締役 専務執行役員	古川 章浩 (ふるかわあきひろ)
取締役 常務執行役員	秋山 幸廣 (あきやまゆきひろ)
取締役 執行役員	北野 裕行 (きたのひろゆき)
取締役	増田 栄治 (ますだえいじ)
取締役(社外)	渡邊 治巳 (わたなべはるみ)
常勤監査役	山口 謙二 (やまぐちけんじ)
監査役(社外)	葛西 清 (かつさいきよし)
監査役(社外)	東 三郎 (ひがし さぶろう)
執行役員	東 賢一 (あずまけんいち)
執行役員	結城 淳 (ゆうきじゆん)
執行役員	小池 拓 (こいけたく)
執行役員	戊亥 稔 (いぬいみのる)

ホームページのご案内



URL <http://www.bsp.jp/>

BSP

検索

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.bsp.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

株式会社ビーエスピー

〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
TEL:03-5463-6381 FAX:03-5463-6392
お問い合わせ先:広報IR室
TEL:03-5463-6384 email:ir_info@bsp.co.jp

お知らせ

過去の配当金のお受け取りについて

ご所有株式の過去の配当金のうち、お受け取りになっていない配当金は、受取期限内であれば、所定のお手続きを取っていただくことで、お受け取りいただけます。

お手許の「配当金領収証(郵便振替支払通知書)」にご押印の上、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行本支店にお持ちください。

未受領の配当金の有無がご不明の場合は、三菱UFJ信託銀行(フリーダイヤル:0120-232-711)にお問い合わせください。

なお、配当金の受取期限は、当社定款の定めにより、配当支払開始日から満3年となっております。

また、安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけるように、口座振込のお手続きをお勧めいたします。お取引の証券会社で配当金振込指定のお手続きを行ってください。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになる株主さま宛にも「配当金計算書」を同封しております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

